

平成24年6月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者12名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	<p>1 館腰交番名取が丘連絡所について</p> <p>2 地域で地域を支える仕組みづくりについて</p>	<p style="text-align: right;">9番 山田 司郎</p> <p>(1)連絡所の赤色灯や警察電話が使えない現状をどうとらえているのか。岩沼警察署や県に改善を求めていくべき。</p> <p>(2)子供たちの見守りなど地域活動の拠点として、連絡所を地域の関係団体が無償で利用できるよう県に働きかけるなど、市としてできる支援をすべき。</p> <p>(3)地域住民の意向を最大限考慮して跡地の活用を図るべき。</p> <p>(1)福島県春日市の事例に学び、高齢者等の日常的な見守りや災害時要援護者の支援など、地域で地域を支えるネットワークの構築に向けて、自治会主体の地域支え合いカード・マップづくりに取り組むべき。</p> <p>(2)見守りを必要としている人の情報を行政や関係機関、団体等で共有できる仕組みに改めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
2	<p>1 狭隘道路の整備促進について</p> <p>2 児童生徒の交通事故防止について</p>	<p style="text-align: right;">8番 長南 良彦</p> <p>(1)道路改良工事にかかわる陳情の実態を精査し、計画策定の上早期実現に取り組むべき。</p> <p>(2)東日本大震災を教訓に狭隘道路の改良促進を図り、緊急時の迂回道路の確保に努めるべき。</p> <p>(1)登下校時における交通事故が多発していることから、通学路の安全性調査を実施すべき。</p> <p>(2)危険箇所への安全対策早期実施と事故防止対策の指導徹底を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>市 長 教育長</p>	
3	<p>1 安全なまちづくりについて</p> <p>2 被災者の生活と健康を守ることにについて</p>	<p style="text-align: right;">6番 大沼 宗彦</p> <p>(1)子供と女性をねらった犯罪の増加への防犯対策を強化すべき。</p> <p>(2)通学路の危険箇所の総点検で安全対策を進めるべき。</p> <p>(1)地域支え合いの体制をつくるべき。</p> <p>(2)仮設住宅の見守り体制をきめ細やかに進めるべき。</p> <p>(3)民間賃貸住宅に入居している被災者の相談連絡体制をさらに進めるべき。</p> <p>(4)福島県からの被災者の相談・見守り体制を進めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
4	<p>1 高齢者支援について</p>	<p style="text-align: right;">10番 菊地 忍</p> <p>(1)老人福祉法第32条の2が新設され、市町村は後見人の育成とともに、それを活用するために必要な措置を取ることが規定された。本市でも市民後見人の育成を図るべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	<p>2 学校の安全対策について</p> <p>3 学校給食について</p>	<p>(2)平成22年6月定例会にて、救急医療情報キットの配布を提言した。昨年の震災を受け配布を実施する自治体がふえているが、本市でも取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)全国的に通学中の児童・生徒が犠牲となる交通事故が頻発している。通学路の安全確保について、学校・道路管理者・警察と連携した点検や必要な対策を早急に図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)学校の非構造部材の安全点検の実施状況は。また、危険箇所の耐震化を早急に図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)3月に文部科学省から学校防災マニュアル作成の手引きが示された。そのポイントとしてマニュアルの作成・見直しの段階から家庭、地域、自治体等の関係機関と共同で作業に当たることが望ましいとされている。本市の各学校でも取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)保護者の負担軽減の観点から、栃木県足利市では学校給食会を通さず地元のJAから直接精米を供給してもらいなどの見直しを行い、給食費を月額100円値下げした。本市でも必要な見直しを行うべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
5	<p>1 公民館運営のあり方について</p> <p>2 市民から理解される名取市斎場の運営について</p>	<p style="text-align: center;">15番 山口 實</p> <p>(1)平成24年2月定例会で事務長の他公民館兼務は好ましくなく、検討したいとの答弁であったが、どのように対応されたのか。</p> <p>(2)震災時でもあり、地域のコミュニティーの拠点として重要な役割を担う公民館の事務長が兼務されることは、公民館運営に大きな支障を来す原因と考える。改善すべきではないか。</p> <p>(3)市全体の活性化の基本は地域活動であり、公民館活動である。変則的な公民館運営を改め、本来の姿に戻すべきと考えるが、いつまでこの状態を続けようとしているのか。</p> <p>(4)地震災害により被害の大きかった増田公民館の現状認識と、今後どのように運営しようと考えているのか。</p> <p>(1)公共施設は利用者最優先でなければならない。不便や不快感を持たれることは許されない。仮設休憩所の設置を急ぐべき。</p> <p>(2)斎場の管理員（作業員）は、職務時の服装に規定はあるのか。</p> <p>(3)人生最期の儀式を行う場所であることから、斎場管理員の服装を作業服から制服に戻すべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
6	1 安全・安心なまちづくりについて	2番 大友 康信 (1)街路灯の設置について、防犯の面と通行の安全のために、照度の確保を図るべく、新設と維持管理における基準を策定すべき。	市 長	
7	1 区長制度について 2 市長の政治姿勢について	1 2番 小野寺美穂 (1)現状をどのように把握し、今後の方向性をどう考えているのか。 (2)区長の職務に掲げられている住民の市に対する要望等の相談業務を遂行するための環境整備をどのようにとらえているのか。 (3)町内会との整合性を図るべき。 (1)市政運営に当たり何が最も重要だと考えているのか。 (2)市民・職員の声をどのようにとらえているのか。 (3)特に震災後の市民の思いをどう受けとめ生かそうとしているのか。市民の心に寄り添った市政運営に努めるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
8	1 透明性のある情報提供について 2 震災時の身体障害者への対応について	1番 荒川 洋平 (1)5月7日からの関上地区別説明会において、市民の中には現在の震災復興計画に納得していないという方が多く見受けられた。根本的に計画に反対する方もいたが、これまでの進め方に対して疑問を感じている方が多く見受けられた。これからの予定・経過をわかりやすく情報提供し、顔を合わせての説明会を多く設けるべき。 (2)震災復興計画基本方針にさえ反対する住民が多く見受けられた一方で、ゆりあげ港朝市・仮設魚市場など着々と現地再建へと動き出している。その事実を一般メディア等で知ることも多く、名取市ホームページにも公開されていない。市民の代表である市議会議員への事前報告もなく、非常に困惑することが多々ある。リアルタイムでの情報発信としてホームページ・名取災害FMなどがあることから、その都度発信すべき。そして、市民への説明責任を負っている市議会議員への事前報告をすべき。 (1)東日本大震災時に名取市では68名の身体障害者の方が亡くなられた。それを検証し、震災時の身体障害者への対応を見直すべき。	市 長 市 長 市 長	
9	1 うつ病対策について	1 8番 星居 敬子 (1)うつ病の早期発見のため、パソコン等で手軽に心の健康チェックができる「心の体温計」を導入し、市のホームページからアクセスできるようにすべき。	市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 安心対策について	(1)災害時や病気等の緊急時に役立つ安心シートの普及・活用を行っていくべき。	市 長	
	3 介護保険サービスの取り組みについて	(1)介護保険サービス等のサポート活動を対象として、ボランティアポイントにより交付金を受け取ることのできる介護保険サポーターポイント制度を実施すべき。 (2)介護保険料の滞納がなく、またサービスを利用していない方に対し、何らかの還元をすべきであると考えるが、その取り組みを早く実施すべき。	市 長 市 長	
	4 空き家対策について	(1)名取市の空き家の実態と空き家の管理上の問題等の対策を考えるとところをつくるべきと考えるがどうか。	市 長	
10	1 スポーツ振興と環境整備について	5番 及川 秀一 (1)箱塚グラウンド、第二臨空公園、市民体育館、十三塚公園等屋内外のスポーツ施設が使用できない状態だが、市民スポーツへの影響と現状をどうとらえているのか。 (2)第五次長期総合計画の生涯スポーツ振興の進め方についての考え方は。 (3)生涯スポーツ振興への影響をどうとらえているのか。 (4)箱塚グラウンド等のスポーツ施設の整備計画は。 (5)閉館中である体育館・グラウンドの市民スポーツへの代替措置は。 (6)名取スポーツパークを活用すべきと考えるが、関係企業から復旧への協力等働きかけはなかったのか。 (7)今後、関係企業への対応は考えているのか。	教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長	
	2 低炭素社会と安心安全なまちづくりについて	(1)第五次長期総合計画の低炭素社会の実現への取り組みについて。 (2)低炭素社会実現への新たなモデルの策定は。 (3)現在までの省エネルギー対策への取り組みは。 (4)学校施設等公共施設への再生可能エネルギーの取り組み現状は。 (5)小水力発電の農業用水路等への導入の取り組みは。 (6)防災機能強化のための再生可能エネルギーの導入を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
11	1 小中学校におけるICT教育について	3番 小野 泰弘 (1)平成24年度の小中学校におけるパソコン増設の内容を伺う。 (2)小中学校のインターネットを光回線に変更すべき。	教育長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 地図利用型 防災情報提供事 業について	(3)下増田小学校、愛島小学校のプレハブ校舎にもLANを設置すべき。 (4)各学校のICT担当者から意見を聞くべき。 (5)ICT活用に関する教員研修を充実させるべき。 (6)ICT化の統括責任者を教育委員会と学校内に設置すべき。 (7)教員のICT活用を支援する情報担当専門家（ICT支援員）を活用すべき。 (1)市民の広場の利活用状況を伺う。 (2)市民の広場をもっと活用すべき。 (3)災害時の具体的な活用方法を伺う。	教育長 教育長 教育長 教育長 市 長 市 長 市 長	
1 2	1 道路整備に ついて 2 災害時に避 難所となる施設 の整備を図るべ き	1 3 番 郷内 良治 (1)県道仙台館腰線の村田インターまでの延伸を隣接市町とともに国・県に強く働きかけるべきと考えるがどうか。 (2)大震災を教訓に広域的な避難道路、物資支援道路を早急に整備すべきと考えるがどうか。 (1)西部地域の人口増に伴い、災害時の避難所についてどのように考えているのか。 (2)住民との約束でもある愛島のコミュニティーセンターを早急に建設し、避難所としても活用すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長	